

延岡市長

読谷山 洋司 様

令和5年度

政策提言書

1. 県北地域における医療体制の充実
2. アフターコロナにおける観光振興の推進

令和5年12月22日

延岡市議会

議長 松田 満男

1. 県北地域における医療体制の充実

地域医療においては、医師不足等の課題を抱えつつも、地域住民が安心して医療を受けられる体制を整備していく必要がある。

県北地域における中核医療機関である県立延岡病院は、神経内科の休診などにより、一部の救急医療や高度医療に十分な対応ができなくなったことを受け、平成 20 年度から、延岡市医師会において、脳梗塞及び消化管出血患者を輪番で受け入れる体制を作り、現在に至っている。しかしながら、対応できる医療機関は限られており、将来的に継続していくことが困難になることが想定され、何らかの改善策が必要となっている。

また、本市における医師の高齢化が進むなか、医師の確保とともに、医療機関を継続して運営していくためにも、看護学校への進学を希望する者への後押しなど、地元看護師の育成・確保が重要となっている。

さらに、救命救急医療においては、命を救う可能性が高まる 15 分圏域の空白地帯の解消に向け、県立延岡病院が基地病院となる県内2機目の「ドクターヘリ」の配備が必要な状況にあり、将来的な「空飛ぶクルマ」による救急搬送を見据え、現在、稼働実績のある「ドクターヘリ」の県北地域への導入を調査・研究する必要がある。

このような状況を踏まえ、県北地域の医療体制の充実に向け、次の事項について特段の措置を講じていただくよう提言する。

記

(1) 脳梗塞及び消化管出血患者受入輪番体制の早急な改善

市内医師の高齢化に伴い輪番制の維持が困難となっている現状を踏まえ、宮崎県とも県内医療圏域間のバランスを図るべく、今以上の情報交換と連携を図るとともに、隣県大学病院への積極的な働きかけはもとより、九州管内のみならず、全国から医師の募集を行うなど、医師確保に向けた可能性に関する調査・研究を検討すること。

(2) 医師及び看護師確保策の更なる充実

医師及び看護師不足は深刻な状況にあるなか、本市における医師の新規開業支援については制度化されているものの、既存病院や看護学生に対する支援は、更なる検討の余地があるものと思われる。このため、既存病院の経営安定化のための施策の充実と事業承継のための広範囲での可能性調査及び支援、並びに看護学生の入学時からの奨学金制度の創設を検討すること。

(3) 県北地域における「ドクターヘリ」の運用に係る可能性調査の着手

県北地域における「ドクターヘリ」の運用において、命を救う可能性が高まる15分圏域の空白地帯の解消を図るため、宮崎県内だけではなく、大分県佐伯市や熊本県東部地域も含め、「ドクターヘリ」の導入に向けた費用、人材、他自治体との連携など、様々な可能性の調査を検討すること。

2. アフターコロナにおける観光振興の推進

全国の自治体において、コロナ禍で疲弊した経済の活性化に向けた動きが活発化している中、本市においても、年間を通じた誘客を目的として、ひむか遊パークうみウララエリアの再構築やユネスコエコパークの拠点施設の整備など、観光客の受け入れ体制の整備を強化するとともに、本市の山間部から中心部を回遊できるような仕組みや、近隣自治体との広域的な視点に立った誘客促進が必要である。

また、脱コロナ後のインバウンド需要に乗り遅れることなく、本市の魅力的な地域資源を活かしながら、他自治体が取り組んでいないようなニッチな部分を掘り起こしていく必要もある。そのために、本市とつながりのある諸外国のツアー需要の調査・研究等が必要である。

さらには、令和9年に開催される国民スポーツ大会及び全国障害者スポーツ大会を見据えて、市外・県外の来訪者に向けた観光資源の魅力発信が求められている中、本市開催競技関係者の宿泊を可能な限り市内で受け入れることによる外貨獲得と、その後のリピート観光を促進するためにも、市内観光宿泊施設の早期整備が必要である。

このような状況を踏まえ、アフターコロナにおける観光振興の推進に向け、次の事項について特段の措置を講じていただくよう提言する。

記

(1) 観光地や観光施設の更なる充実、広域的な視点に立った観光客の誘客促進

「うみウララ」エリアを中核とし、本市の玄関口であるエンクロスや城山公園、延岡城・内藤記念博物館など、市内を回遊するルート
を早期に構築し、宮崎県最大の観光地である高千穂町を訪れる
際には、延岡市が「ワンストップポイント」となるべく、ハード面とソフト
面両面での誘客促進に向けた施策を検討すること。

(2) インバウンドの更なる誘客促進

脱コロナ後のインバウンド獲得に遅れることなく、本市とのゆかりの
深い東南アジア、特に台湾、香港、タイ、ミャンマー等に対する「体
験型観光と食」に特化したツアーの導入を検討すること。

(3) 市内観光宿泊施設の充実

令和9年に開催される国民スポーツ大会及び全国障害者スポ
ーツ大会を見据え、市が管理する宿泊施設等の将来の利活用も
含めた設備充実を早期に検討すること。